

ふれあい

2026

1

No.466

牛久愛和総合病院 広報誌



新年のご挨拶

院長 瀬下 明良



2026年の新春を迎え、皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃より、当院の運営および地域医療への取り組みに対し、温かいご理解とご支援をいただき有難うございます。本年もよろしく願いたします。

まず昨年を振り返りますと、やはり感染症の流行がいつも気がかりでした。新型コロナウイルスは2023年5月からは感染法上でインフルエンザと同じ5類となりましたが、昨年数ヶ月毎に流行し、院内でのクラスターも散発しました。以前に比べて軽症の方が多く、少人数かつ短期間で収束できました。初夏には県南で麻疹が数年ぶりに発生し、当院へも感染者が来院されました。感染力が非常に強いので、職員の抗体価を再確認す

るなど対応に追われました。また夏には百日咳が例年の5倍以上報告され秋まで続き、初冬には例年より早くインフルエンザが流行し、軽症の方が多いですが、体力の無い方では入院が必要でした。感染症は他疾患と併発することも多く、引き続きその対策は医療の基本と実感しています。

さて今年は医療の現場はどのようになっていくでしょうか。安全・安心・寄り添うを基本としています。それは十分なマンパワーが必要で、2024年4月からの医師の働き方改革の導入、物価の高騰に追いつかない医療費改定など、医療界の経済状況は厳しい状況になり、それに伴い人材不足も多く、地域で問題となってきました。当院も同じで、タスクシフト、デジタルトランスフォーメーションの導入など各部署で様々にその対応に取り組んでいます。また十分ではなく、本年もより一層の努力が必要になっていきます。

一方で昨年9月に、県より地域医療支援病院の指定を受け、より地域医療に貢献する思いを強くしております。そのため地域医療機関との役割分担を十分に行うとともに、より信頼を得るため病院全体の客観的な評価が大事と考えて、1月末に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受け、5回目の更新を目指しています。なおご不便をおかけしていた整形外科は、筑波大学のご支援で昨年4月より常勤医師4名体制となりました。これにともない、救急要請にも幅広く対応できるよう診療部門をより充実できるように努めていきます。

・医療全般は基より、三つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域に最善の医療・福祉を提供し、かつ自己研鑽に励む・・・という当院の理念を職員全体で改めて意識して、本年も医療に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

年頭のあいさつ

ひたち野ステーションクリニック 院長

千葉 俊也

新年あけましておめでとうございます。組んでまいります。

ます。当院のサテライトクリニックである、ひたち野ステーションクリニック院長千葉です。

この一月で開院後五年が経過しますが、昨年各各科の医師を始めとする当院関係者や地域の皆さまに支えられ、私たちスタッフ一同、医療活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。

昨今様々な媒体で取り上げられていますように、近年医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。高齢化の進展に伴う医療需要の増加、医師や看護師など人材不足、医療費の増大、医療機関（特に大学病院を始めとする公的医療機関）の経営環境の悪化さらには感染症や災害への備えなど、私たちが直面する課題は少なくありません。こうした状況の中で、当クリニックが果たせる役割はきわめて限定的ですが、地域の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、スタッフ一同力を合わせて取り

組んでまいります。

当クリニックは主に消化器疾患を中心とした内科診療を行っています（インターネット検索エンジンの関係でしょうか）時折整形外科や皮膚科と思われる受診の方がいらっしやいます。その場合専門外でもむげに断らず、可能な範囲で診療し、必要に応じて専門科に紹介するように心がけており、今後も「気軽に相談できる医療機関」であり続けたいと願っています。ちょっとした体調の変化や健康の不安も、どうぞ遠慮なくお声がけください。皆さまの毎日の暮らしが、安心して笑顔に満ちたものになるよう微力ながら努めてまいります。

健康は日々の生活の積み重ねから生まれます。散歩や体操、バランスのよい食事、そして笑顔を大切に、どうぞ健やかな一年をお過ごしください。本年もどうぞよろしく願いいたします。

春秋園だより



あけましておめでとうございます。

2026年新しい年、午年です。昨年は暑い夏がいつまでも続き、突然寒くなるという流れで、日本はいつから夏と冬の二季の国になったのだ、という声が多く聞かれました。皆様、暑さから寒さへ体を慣れさせるのに戸惑われたのではないかと思います。

ところで、寒い季節でも熱いのは介護の世界です。家で介護されている方々のうち、介護する方も介護される方も65才以上のいわゆる老々介護の割合が63%を超えており、さらに介護する方も、される方も75才以上という後期高齢者同士の組み合わせが35%を超えたことです。春秋園では、入所、通所、居宅支援、訪問看護などで多くの方々のお世話をさせて頂いております。

ですが、最近はお高齢の方のみでなく、介護が必要な40才代、50才代の方々もいらっしやいます。介護老人保健施設は、原則、病後治療の後の体力低下などで、あるいはご家庭で介護が大変になった場合などに入所、あるいは通所で通って頂き、リハビリテーションを

行い、元気になって戻っていただく施設です。

コロナの時代にいろいろあった制限も少しずつ無くなり、コロナ前の状態に戻りつつあります。面会も行いやすくなり、ボランティアの方々も多彩なアトラクションの音楽が響き渡るようになっていきます。また、入所、通所とも、季節ごとの行事もそれぞれ行われています。

春秋園の利用について詳しく知りたい、という方は、まずは身近なケアマネジャーの方に相談してみてください。春秋園にご連絡いただいても大丈夫です。その後の対応のお話をさせていただきます。

日本の季節が「夏と冬」になるとしても、私共の施設は「春秋園」です。職員一同で「春夏秋冬」の季節を感じられる介護のおもてなしを目指してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

（施設長 高橋 元）



部署紹介

歯科口腔外科

歯科衛生士 主任 高橋 満里子

歯科口腔外科は、口腔内や顎・

目的としております。

顔面それらの隣接組織に生じる病気や外傷を扱う診療科です。親知らずの抜歯や口腔内の腫瘍、顎骨骨折、顎関節症等のより専門的で外科的な処置が必要な疾患を診察しています。

二〇二五年度は、多岐に渡り多くの疾患の対応を行いました。顎変形症手術、悪性腫瘍等の症例が増加しています。

当初診時は、紹介状を持参の上受診となります。抜歯などの外科的な処置を要する場合は、安全に行うため、歯科医師による説明を必ず行い、処置内容を理解していただいてからの対応としております。持病がある方は、主治医に対診させていただき

当科は歯科医師(常勤医三名、非常勤医三名)、歯科衛生士四名、事務一名で対応しております。チームワークを大切に、一人一人が専門的技術・知識を活かし安心して受診していただくように努力いたします。地域連携登録歯科医院と円滑な医療連携のもと診療を行っています。口腔内のことで気になることがありましたら当院歯科口腔外科もしくは地域連携登録歯科医院にご相談ください。

また、他診療科と連携をとり、癌治療や手術等の治療開始前から口腔内の状態の評価・管理を行う周術期等口腔機能管理を実施しております。誤嚥性肺炎などの合併症を予防し、全身治療の成果向上や治療期間の短縮を

多くの疾患の対応を行いました。顎変形症手術、悪性腫瘍等の症例が増加しています。



Dr趣味リレー

眼科 医長 石田 祥子

子どもが生まれてから、毎年秋になるとニット帽を編むのが恒例になりました。成長とともにサイズやデザインを変えながら、今年はどんな色にしようかと毛糸を選ぶ時間も楽しみのひとつです。小さかった帽子を並べてみると、子どもの成長の記録のように、少し感慨深い気持ちになります。

近頃は、入学に向けてバッグや巾着袋などの学用品も手作りしています。決して完璧ではありませんが、「お母さんが作ってくれた」と喜んでくれる姿がうれしく、次は何を作ろうかという意欲がわいてきます。

忙しい日々の中でも、毛糸や布に触れていると心が落ち着き、ものづくりの時間が良いいリフレッシュになっています。



入職者

- ①担当 ②専門とその紹介
③出身大学 ④趣味 ⑤生年月日 血液型 星座

12月1日付

研修医 堂下 裕司

①救急ローテーション

②筑波大学附属病院研修医二年次の堂下と申します。志望科は呼吸器内科です。よろしくお願いたします。

③島根大学 ④ラーメン

⑤1986年7月17日 39才

A型 かに座

看護部

看護師

青柳 芹奈

これまでの経験を活かしながら、一人一人に合った看護を提供いたします。

スポーツリラックス

インストラクター

藤田 工司

施設を利用する方々が、心地良く運動が出来る環境づくりに努めてまいります。

春秋園

ケアサービス部

介護福祉士 坂本 淳一

経験や向上心を活かし、皆様の穏やかな日常の一助になれるよう努めて参ります。

12月16日付

人事部付

清掃

染谷 かおり

掃除を担当させて頂くことになりました。明るく元気にやっていこうと思います。



12月23日、クリスマス会を行いました。
年長児がローソクに火を灯し、キャンドルサービスで始めようとした時、外から鈴の音が…。カーテンを開けるとサンタさんがいました。「わあー!!」と歓声が上がりました。
サンタさんへの質問の時、三歳児が、「プレゼントありがとう」と昨年のプレゼントのお礼を言っていました。本を

クリスマス会

12/23

《出来事ピックアップ》

編集だより

新しい1年が始まりました。
新年を迎えるのはいくつになっても嬉しいものです。
そして「今年こそは」と思い、また新年の抱負を考えています。
みなさまにとって、素晴らしい1年になりますように。(T・S)

(保育課係長 榊原)

読む事が好きなサンタさんから、絵本をもらい一緒に見ました。子ども達一人一人も頭をなでてもらったり、ギュッとしてもらいながらプレゼントをもらいました。それから、皆で一緒に楽器遊びや、歌ったり踊ったり、楽しい時間を過ごしました。



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最善の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床
地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

循環器疾患専門外来、ペースメーカー専門外来、不整脈外来、肝疾患専門外来、糖尿病専門外来、甲状腺専門外来、血液専門外来、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）専門外来、リウマチ専門外来、関節専門外来（股・膝）、脊椎外来・足部外来、スポーツ外来、乳腺専門外来、小児神経外来、発達障害（自閉症・学習障害等）専門外来、小児心理外来、小児科免疫外来、小児科循環器外来、口腔機能外来、皮膚科レーザー外来、内視鏡科、心臓血管外科、そけいヘルニア外来、下肢静脈瘤外来、再建外来、女性泌尿器科外来

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
読影センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

